

第5回 生活部会 報告書

令8年2月6日

開催日時	令和8年2月6日(金)13:30～	場所	千曲市ふれあい福祉センター 会議室5
部会員	稲荷山太陽の園/ともいきライフ月影/いなりやま福祉会はなたば/風ととくべえ/地域生活支援センター CoCoちくま/手をつなぐ育成会/歩夢ヘルパーステーション/坂城町社会福祉協議会/千曲市福祉課/千曲・坂城障がい者(児)基幹相談支援センター/坂城町福祉健康課		
			出席 16 名

(1) 報告事項 ほか

<p>◆基幹相談支援センターより さんきゅーあーと展が、2月2日(月)～2月15日(日)の日程で、千曲市役所ギャラリーで開催されるので足を運んでほしい。すでに、1月13日(月)～1月25日(日)の日程で、坂城町文化センターでは開催済み。 さんきゅーあーと展は、年を追うごとに盛り上がりを見せており、応募作品数が増加傾向にある。 今後も作品数が増えるとなると、運営の仕方を見直す必要があるかもしれない。 2月18日(水)には地域連絡会、3月19日(木)には運営委員会が開催される予定。</p>

(2) 協議事項 および 内容

<p>◆R8年度について(案) 令和8年度の部会運営(案)について、事務局から説明があった。 令和8年度については、自立支援協議会の再編に充てる年となることから、部会の開催数は令和7年度の5回から3回になる予定。開始時間については、13:30で変更はない。 内容については、暫定案ではあるが、協議会見直しの進捗状況の共有や部会員同士の情報交換等を予定している。 また、役員については、地域連絡会と兼務であり、協議会再編にご尽力いただきたいので、今年度と変わらず、部会長と副部会長を現任者に引き続きお願いすることで承認を願いたい。</p> <p>◆今年度の感想、次年度以降への想いetc 出席者一人ひとりから、今年度の感想と、次年度以降への想いを発表いただいた。 部会の感想としては、日々の業務での悩み事などを事業所間で共有できる機会は貴重であり、研修会も有意義であったという前向きな感想が多く出された。 一方で、出席者数が少ないことについては、部会の目的が明確でなかったからではないかという反省点も出された。 虐待対応や意思決定支援などの義務化されたものについては、個々の事業所で研修をおこなうのは効率的ではないので、協議会の再編に際しても研修会を残してほしいという意見もあった。</p> <p>◆グループワーク 以下の2つのテーマに沿って、3つのグループに分かれて協議した。 主な発言内容は記載のとおり。 ① R7年度の反省、R8年度の計画に向けて ・ テーマを絞ってわかりやすくすると参加者が増えると思う。 ・ 研修会やグループワークは残してほしい。 ・ 地域の社会資源を最大限に活用できるように他機関との連携をすすめたい。 ② 日々の支援や業務で感じること、悩み、課題、等々 ・ 居宅介護のヘルパーが不足しており、若い世代が入ってくれない。 ・ 移動手段がなく、在宅でも施設でも生活が固定されてしまいがちである。 ・ 支援者に世代間ギャップがあり、支援の仕方について認識の共有が難しい。</p>
--

(3) 結果

<p>予定した内容はすべて完了した。</p>
地域連絡会で検討したい課題 [特になし]

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

<p>令和7年度の活動報告については坂城町、令和8年度の活動計画については千曲市で作成し、執行部一任とすることで承認を得た。</p>
--